

英検 Jr.

英検Jr. の求める未来 ～グローバル人材育成のために～

世界で通用する英語を身に付けるために、小さいころから英語の耳を鍛えることはとても大切です。
英語がコミュニケーションツールの一つになると、世界の人々と交流できる喜びや楽しさが生まれます。
英検Jr. はオールリスニングのテストや教材を通して、広い世界で活躍する子どもたちの未来を応援します。

※「英検Jr.ペーパー版」は公益財団法人 日本英語検定協会が、株式会社教育測定研究所に運営を委託しております。

英検Jr. が考える「英語学習」の理想像

英語への
親しみや興味・関心
を引き出す

積極的に英語で
コミュニケーション
をする力を育てる

英語で
世界の人々と
交流できる喜びや
楽しさを感じる

異文化への
理解や知識、関心を
深められる英語力
を育てる

子どもたちに面白い英検Jr. テストを楽しむ!?

琉球大学 教育学部 教授 大城 賢 先生

多くの人にとって「テスト」は嫌なものです。内容は全て忘れてしまっても、悔しい気持ちだけはいつまでも残っています。

さて、今の日本の小学校の英語教育は、スキルの養成を主な目的とはしていません。しかし、「ある一定程度のスキル」は身に付くものと期待されています。中学校との連携を考えると「ある一定程度のスキル」とはどのようなものなのか、知りたくなります。

ある国立大学附属小学校で、第6学年の全児童を対象に英検Jr.を受けてもらいました。後日、先生にテストの際の児童の様子について聞いてみました。すると、以下のようなコメントが

ありました。

「児童の中には、テストを受けながら、会話の内容を楽しんでいる子もいました。例えば、間違った選択肢を聞いたときに、脈絡のなさに『ブッ!』と吹き出したり、笑う子も多かったです」

内容の面白さがテストというイメージを払拭(ふっしょく)しているのでしょうか。子どもにとっても嫌な思い出ではなく、楽しい思い出として残るのではないのでしょうか。もちろん「ある一定程度のスキル」を客観的に見ることができます。英検Jr.の活用をお勧めします。



「英検Jr.」の大きな特長

英語を聞いて○を付けるだけ

英語学習の入門期に最も大切と考えられている、リスニング力を測る形式のテスト。答えは、英語を聞いてそれに合ったイラストなどに○を付ける簡単な方法です。

合否がない「育成型」テスト

子どもに「できた!」という喜びを実感させ、そのことが学習の動機付けになるように、成績は合否は付けずに「正答率」で表し、進級の目安も添えて通知します。

バラエティーに富んだ出題

子どもの身の回りの事柄を3つのグレード(レベル)に合わせて多様な形式で出題。ヒントを聞いて答えを推測する、なぜなぞのような問題もあり、子どもはゲーム感覚で力試しができます。

イラストはオールカラー

問題用紙はカラーで印刷されていて、全ての問題に子どもの興味を引くイラストが描かれています。楽しい感覚で取り組むことができ、人物や背景をしっかり把握して答えることができます。

「チャレンジコーナー」も

「自分のことを聞いてほしい!」—子どもたちの気持ちを大切に考えて、自分の考えや印象に基づいて答える、主観問題を使った「チャレンジコーナー」を設けました。(※正答率には反映しません)

全国規模で実施

受験者は全国のさまざまな環境で英語を学んでいる子どもを対象としており、テストは全国規模で実施されることから、客観性の高い成績データが得られます。年齢や学習年数が同じ受験者の平均値も分かれます。



小学校の外国語活動を考慮

英検Jr.は、小学校外国語活動の「コミュニケーションを図ろうとする態度の育成」や「音声や基本的な表現に慣れ親しむ」などを考慮して作られていますが、特にBRONZEは英語が初めての子どももチャレンジできるように初歩的な内容を出題しています。



受験するグレードの目安

学習経験を 基準にした目安	主な学習経験	BRONZE (初級)	SILVER (中級)	GOLD (上級)
	英検Jr.の受験(目安)	初めて受ける子ども	BRONZEを受けて80%以上正解した子ども	SILVERを受けて80%以上正解した子ども
	英会話スクールなどでの学習	半年～1年程度	1年～2年程度	2年～3年程度
	小学校での英語学習	1年半～2年程度	2年～3年半程度	3年半～5年程度
	文字の学習	学習経験なし	1年～2年程度	2年～3年程度
	その他	家庭で学習している未就学の子ども	—	—

※学習年数は、週1回50分のレッスンを受けている場合を目安としています。

学習状況を基準にした目安

主な学習場所	子どもの学習状況(例)	1回目の受験	2回目以降の受験
小学校	英語活動で初めて英語に触れ、年間約10時間・3年以上の学習経験を持つ子ども	BRONZE	BRONZE
	歌やゲームをはじめ、小学校のカリキュラムに従って音声活動中心に学習している子ども		
	英語学習の動機付けや、英語の楽しさを知り学習意欲の向上が必要とされる子ども		
	2年～3年以上の学習経験があるが、文字の学習はしていない子ども		
	年間約35時間・3年以上の学習経験がある子ども(アルファベットの認識もできる)	BRONZE	SILVER
	BRONZEで80%以上正解し、さらに力試しとしてチャレンジしたい子ども(アルファベットの認識もできる)		
英会話スクール・学習塾・家庭	音声中心の学習をしており、文字を全く学習していない子ども	BRONZE	BRONZE
	アルファベットの認識はできるが、単語や文を読む学習はしていない子ども	BRONZE	SILVER
		SILVER	
	前回BRONZE(SILVER/GOLD)を受け、数カ月後に学習成果や達成度を測ることが必要とされる子ども	BRONZE	BRONZE
		SILVER	SILVER
		GOLD	GOLD
	6歳未満の未就学児で、日常生活のほとんどを家庭内や近所で家族や知人と過ごす子ども	BRONZE	BRONZE SILVER
	SILVERを受け80%以上正解し、やや長い文章や会話を聞いたり、単語や短い文を読んだりする学習をしている子ども	SILVER	GOLD
	SILVERを受け80%以上正解し、長い文章や会話を聞く音声学習よりも、単語や文を読む文字学習に力を入れている子ども	SILVER	※英検5級～4級
GOLDを受け80%以上正解し、単語や文を読む学習もしており、合否を気にせず力試しをしたい子ども	GOLD	英検5級～3級	

※英検：実用英語技能検定(文部科学省後援)